

「コロラドで得た新たな気づき」

明見中学校 桑原 明日香

私は、「富士吉田の良さを伝えてコロラドの良さを体感すること」と、「自分の語学力や積極性を高めること」の2つを目標にコロラドスプリングスへ行きました。

実際にコロラドへ行って驚いたことは、環境を守るための工夫をたくさんしているということでした。例えば、ペットボトルのふたが日本の3分の1くらいの薄さだったり、買い物をしたときにもらえる袋が紙袋だったりしました。ペットボトルの蓋が薄いからといって飲みにくいことはなかったし、買い物袋も破けてびっくりすることはありませんでした。日本でもペットボトル自体が薄くなっていたり、エコバック利用を奨励したりしていますが、視点を変えるとこんな取り組みもできるのだと思いました。物事を違う視点から考えてみることで新たな発見や取り組みにつながるんだなと実感しました。

現地の市役所を訪問した際に議員の方々とお話をする機会がありました。話の中でコロラドスプリングスと富士吉田市には水がおいしいこと、自然が豊かなことなどたくさんの共通点があることを知りました。また、私のホストファミリーは日本が好きで、日本語を何年も勉強していたり、ホームステイの最終日には日本の卵焼きを作ってくれたりしました。このようなことから富士吉田とコロラドスプリングスの繋がりや両市の良さを感ずることができました。

私は英語が好きで得意教科でしたが、ホストファミリーと話す中で聞き取れても返し方が分からなかったり、知らない単語が出てきたときに言葉がつまったりと自分の英語力はまだまだだということを痛感しました。ホストファミリーと過ごす時間が増えていく中で、もっと聞き取れるようになりたい、もっと英語の勉強をしたいと思いました。この気持ちを糧にこれからも勉強に励んでいきたいです。また、完璧に話せなくても伝えたいという気持ちが大切だと感じたので、恥ずかしがらずにいろんな人と進んで話したいです。

今回のコロラド派遣事業を通して私が一番感じたことは、「積極的に挑戦することが自分の成長につながる」ということです。私はコロラドで活動するときに「まずはやってみよう。」「上手にできなくてもいい。」という気持ちで行動していました。その結果、今までやったことのない体験ができ、自信に繋げることができました。

私が様々な価値観に触れて新しい視野をもつことができ、人のあたたかさを感ずることができたのは、素晴らしい機会を与えていただいたことと、一緒に頑張ってきた仲間がいたからです。コロラド派遣事業での経験は、私の人生の選択肢も広げてくれました。一生の思い出に残る経験をありがとうございました。この経験をこれからの生活に生かして頑張っていきます。